Vol.77
２０２４（令和６）年４月発行

たちばなだより

テーマ「向上心」
沓澤千鶴子様　作

巻頭言

令和６年度を迎え、私たちを取巻く様々な環境において、明るい話題は引続き少なく、厳しい情勢が続いております。一方、新型コロナのニュースは聞かれなくなり、黎明が垣間見えているように思います。

その１つとして、約20年の間では２番目の増加率となった今年度の介護報酬改定＋１・59％等をあげることができます。ただし、最重点対策ともいえる介護職員等の処遇改善さえも、インフレ率３％に及ばず、２年毎の改定ではデフレにならない限り、更に差が拡大してしまいます。

また当施設では、ご利用者の重症化を予防し、できる限り早期に適確な医療を提供できるよう、昨年度後半から常勤医師の採用や協力医療機関及び配置医師との一層の連携など医療の充実に取り組みました。

この改定でも、同様に医療の充実等が重点の対策になっています。当法人としても、これらの取組みにより、利用率の向上など、三方よしの実現に努めてまいります。

皆様には、引続きご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

社会福祉法人　茶屋の園
理事長　木所　まさ子

行事報告

本号の発行がだいぶ遅れてしまいましたため、少し前のものも含め主な行事をご報告申し上げます。

外食

昨年6月28日(水)、近所のパスタ屋のディナーに行きました。沢山あるメニューの中から食べたいものを選んでいただきました。

中でも、焼きたてのピザは、美味しかったと好評でした。

（副主任介護職員　鈴木）

ビール工場見学等

昨年8月23日(水)、府中市矢崎町にあるビール工場に、ご要望をいただいた方を含めてご利用者3名と見学に行ってきました。

見学後、おつまみとできたてのビールやジュースを工場から提供していただき、大変美味しかったと好評でした。

さらに、この帰りに近くのコーヒー専門店でコーヒーと軽食を食べて、外出を十分に楽しんでいただきました。

ご利用者からは今回の外出は「十分外出を味わえて、気分転換になった」、「できたての美味しいビールが飲めて幸せ」だったと感想をいただき、大満足されました。

これからも、同様の取組みを実施してまいり、さらによりよいものにしていきます。

（副主任介護職員　小川）

サンシャイン水族館

昨年8月9日(水)、池袋サンシャイン水族館に行き、ショッピングや、ランチを楽しんできました。

この水族館に30年ぶりに来たご利用者は、昔の水族館とは全然違う様子に驚かれていました。

好きなランチメニューを選び、雰囲気も異なるためか、普段より喫食率が上がっていました。

参加された皆さんからは「楽しかった。またこのような外出をしてほしい」とおっしゃっていました。

次回も楽しみにしていてください。

（副主任介護職員　鈴木）

ネイルアート

新たに設立された一般社団法人「日本認知症美容協会」（令和5年12月設立）の代表の義原瞳さんをはじめネイリストさんに来園していただきました。女性のご利用者はネイルアート等でキレイに、男性のご利用者は足浴やオイルマッサージで気持ちよくリラックスされていました。

花火大会

昨年8月からは、8月1日(火)、13日(日)、9月13日(水)、10月5日(木)、11月21日(火)と、令和6年になってからは、1月19日(金)、2月10日(土)に実施しました。

ご利用者は、「きれいになってうれしい」「初めてだけど、気分がよかった」「恥ずかしいけど嬉しいわ」「こういうことを待っていた」等、大変喜ばれていました。

協会とのこの取組みは、単にネイルアートを楽しんでいただくというだけではなく、私たちの整容ではできない美容の機会を生かし、より美しくなって行事や外出に参加していただきたいという思いで実施しています。

協会も私たちもご利用者の笑顔を一番大切にして、取り組んでいます。

（副主任介護職員　小川）

ここ5年は大規模改修やコロナ禍により納涼祭を中止し、花火大会を行いました。

昨年9月19日(金)は、小雨でしたが、担当している職員が地元の花火屋さんと相談しながら、より華やかな花火を選択してくれたため、テントの中で観賞する花火に、「綺麗」「来年も見たい」と声が多く聞かれました。

今年は、納涼祭もできる状況になってほしいものと期待しつつ、これからも四季折々の楽しさがあるレクリエーションを企画してご利用者に楽しんでいただけるよう取組んでいきます。

（副主任介護職員　向井）

敬老会

9月20日(水)、敬老会を行い、米寿、卒寿、傘寿、白寿、喜寿、百一加の方々に賞状と花束の贈呈、記念撮影を行い、府中市長さんから祝辞もいただきました。

たちばなの名コンビ!!

余興として職員が漫才を披露しました。当施設の最高年齢の方は102歳でしたが、これからも健康で楽しくお過ごしいただけるよう、私たち職員も一層努めてまいります。

（介護職員　谷戸）

フラワーアーチ

ビジュフルール代表の島さんに、正面玄関にフラワーアーチを設置していただきました。

今までの少し冷たい雰囲気とは異なり、草花のやさしさで、施設へ来園された方をお迎えしています。

わたしたちがこのアーチに込めた願いは、短期入所のご利用者のお迎えとお帰り

の安全、次回ご利用をお待ちすること、特養ご利用者の通院を見守り、元気になっていただきたいということです。

その思いに華やかさを合わせたイメージで作成していただいています。

この華やかな様子に「一緒に写真を撮りたい」という声や「ずっと見ていたいわ」というご利用者もいらっしゃいました。もちろん短期入所のご利用者にも大変好評です。

既に年に4回雰囲気を変えていただいていますが、これからも四季に併せて一層華やかなアーチをお願いしたいと考えていますので、楽しみにしていてください。

（施設長　漆原）

手のひら健康バレー

昨年8月から、毎月9回程、特定非営利活動法人「手のひら健康バレー協会」に活動を委託しました。

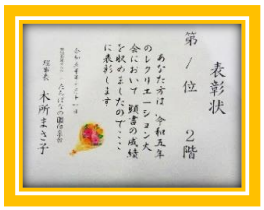
あそびクラブと同様に身体を楽しく動かすことで心身機能の活性化や向上を目的に、楽しいリハビリの一環としてこの手のひらバレーを実施しています。現在相応の効果が出始めています。

これから職員体制を整えて積極的に参加を募り、ご利用者と楽しい機能回復訓練の時間を過ごせるよう努めます。

（副主任介護職員　向井）

秋のレクレーション大会

10日18日(水)、楽しく身体を動かし、心身をリフレッシュを目的に、各階対抗戦でバレー、球入れ、ボーリングによる球技大会を行いました。皆さんの応援で大会は大盛り上がり、「こんな楽しいのは久しぶり！」と仰るご利用者も。



結果は・・・

1位　2階

2位　4階

3位　3階

（介護職員　兒玉）

春のレクレーション大会

3月6日(水)、皆さんにレクリエーションを通して職員との楽しい時間を過ごしていただけるよう棒サッカーと魚釣りゲームを行いました。

普段は穏やかなご利用者も棒サッカーでは真剣な表情でボールを叩き、職員がカ士の格好をしたキーパーをやり大いに盛りあがりました。

次に各階対抗でどれだけ魚が釣れるかを競い合い大きな本マグロを釣上げる方がいて会場は利用者・職員で楽しめる大会になりました。

（介護職員　田代）

今後の行事予定

令和6年4月
1日(月)　開所記念日・誕生会
3日(水)　花見
10日(水)　4階利用者懇談会

5月
1日(水)　誕生会
　　春のレクリエーション大会
8日(水)　2階利用者懇談会
15日(水)　衣類販売

6月
1日(土)　誕生会
5日(水)　3階利用者懇談会
12日(水)　外食会
19日(水)　会食会

Coming Soon!

毎月最終日の昼食に特別食を提供します

令和6年4月から毎月最終日の昼食で特別食の提供を開始します。
ショートステイをご利用の方も同じメニューとなりますので、ぜひご利用ください。
食事形態にも対応していますので、ご相談ください。
6月以降のメニューは、ホームページなどでご案内する予定です。お楽しみに！

ご利用者インタビュー

今回は、介護職員谷戸が、特養9年目になるご利用者の沓澤様に、昨年インタビューを行いましたので、概要をご紹介します。

谷　戸　たちばなの園白糸台での、暮らしはどうですか。
沓澤様　職員の方々は皆さん優しくとても生活しやすいです。自分で好きなことを自由にできます。
谷　戸　どの様に過ごしていますか。
沓澤様　私は大河ドラマが好きで「家康」を見ています。この前に放送していた「鎌倉殿」も楽しかったです。また、たちばなの園は大きなテレビがインターネットに繋がっていて、過去にやっていたテレビが何でも見ることができて助かります。その他は、職員さんに見守ってもらいスクワットやクロスワードを日課でやっています。
谷　戸　生活歴について、施設生活以外の昔の生活で印象に残っていること

を教えていただけますか。

沓澤様　札幌の生まれで、戦争になり兄弟を頼って東京に出てきました。16歳の時に戦争が始まって、日清戦争、日露戦争と勝ちましたが、敗戦後食べ物に苦労し、お金の価値がなくなり、物々交換で食べ物を手に入れるしか生きることができませんでした。この時、平和が一番だととても強く感じました。

谷戸　これからの抱負はありますか。

沓澤様　心身ともに元気でいるため、運動をしていたいし、自分のことは自分でやり続けたい。今は施設でとても嬉しいです。

今回のインタビューを終えて、沓澤様をはじめご利用者のみなさんが私たちの施設での生活を喜んでいただいていることがわかり、ありがたいことだと思いました。これからももっと楽しい生活をご利用者とともに実現できるようにしていきたいと思いました。

また、これまで取り組んできたあそびクラブや生活リハビリも大切だと改めて感じました。

人事往来　カッコ内着任日・職種

〈令和5年入職〉

向井　直美（4月1日　介護職員）
非常勤介護職員を15年勤め、4月から常勤介護職員になりました。これまで以上にご利用者のためにがんばります。

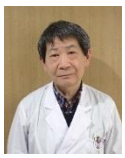
兒玉　みづほ（4月1日　介護職員）
長所の明るい性格を生かし、ご利用者を笑顔にできる職員になれるように頑張ります。

杉坂　由美子（5月23日　介護補助員）
入浴補助で入職しました。ご利用者に安心でき、快適にご入浴していただけるよう頑張ります。

田代　一夫（6月1日　介護職員）
介護の業界には15年程経験があり、これを生かしてご利用者から一つでも「ありがとう」を多くいただけるよう、当施設で頑張っていきます。

浅井　信也（8月1日　介護職員）
介護を始めてから10年以上が経ちますが、学ぶことの多い毎日です。ご利用者が安心でき、楽しく過ごしていただけるよう、これからも向上心をもって仕事に取り組んでいきます。

〈令和6年入職〉



根岸　鋼（1月1日　医師）
私の得意分野は心理学、内科学、精神医学、病理学です。なお、今までに300～400人の解剖をさせていただいたことを通じて、その方々の生をみてまいりました。趣味は「通販」で買っては捨てていることです。

水永　裕子（1月1日　言語聴覚士）
ご利用者の「食べること」、「話すこと」について、職員の皆様とたくさん検討して、実績をつくっていければと思っています。

茶屋の園サービス理念

1. 個人の尊厳を守り、自由と生きがいのあるサービスを行います
2. 笑顔と愛情のこもった良質なサービスを行います
3. 安全で安心できるサービスの提供を目指します

編集後記

当施設が高性能の複合機を導入したことにより広報誌の作成が可能になりました。

今回より編集作業は、管理課が行っています。

施設の情報や普段の様子などを分かりやすく、楽しくご紹介したいと思います。

この機能を使いこなして、よりよいものを臨機応変に作成し、費用を抑えて提供できるよう目指します。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

（管理課　千田）

〈福祉課〉

この４月から、江口誠福祉課長が就任しました。

外国人介護職員の採用や、医療の充実、福祉課業務の効率化など新たに取り組むべき課題が山積しており、精力的に対応してもらえるものと期待しております。

今までの課長もその経験を生かし、介護の仕事で力を発揮してもらえると思いますし、沓澤さんの作品「向上心」に力をいただき、よりよい施設にするために、職員一丸になって向上できるよう頑張ります。

（施設長　漆原）

「たちばなだより」第78号（春号）
２０２４年（令和６年）４月発行
編集・発行　たちばなの園白糸台　漆原尚幸
〒１８３-００１１　府中市白糸台６-２-17
ＴＥＬ　０４２（３５８）０２２１
ＦＡＸ　０４２（３３５）７７１７
☆たちばなの園白糸台（特別養護老人ホーム）
☆併設型短期入所生活介護（ショートステイ）

お知らせ

〈居宅介護支援事業所休止〉

令和６年２月から居宅介護支援事業所を休止しております。

再開の準備が整い次第ホームページ等によりご連絡させていただきます。

茶屋の園では個人情報の取扱いを適正に行い、個人情報の保護に関する法律に基づいて厳正に管理いたします。

社会福祉法人茶屋の園

たちばなの園白糸台

ホームページは
こちら

https://www.chayanosono.jp/